

一般会計 特別会計 総額23億5,313万円 6月補正予算が成立

主な事業

- 農林水産基盤整備事業 3億7,544万円
- 椿の湯施設整備事業 3億6,805万円
- 私立保育所耐震化事業 2億3,977万円
- 市営住宅改修・建替え事業 1億7,898万円
- 認定こども園整備事業 1億5,187万円
- ふれあいセンター建替え・耐震化等整備事業 1億4,832万円
- みんなで育む美しい街並みと賑わい創出事業 1億220万円
- 準用河川改修事業 7,310万円
- 道後温泉活性化事業 3,936万円
- 消防団員高性能法被導入事業 3,216万円
- 情報通信基盤運用整備事業 2,862万円
- 中心市街地再開発・まちづくり推進支援事業 2,100万円

6月補正予算が定例市議会で決まり、補正額は一般会計で19億8508万円、累計は1813億8508万円(前年同期比3.18%増)となりました。子ども・子育て支援の充実をはじめ、市民の安全・安心の確保や中心市街地の活性化などに取り組みます。

子ども・子育て支援
耐震化が必要な私立保育所や、認定こども園へ移行する私立幼稚園の施設整備に対して助成し、子どもを安心して育てることができるよう環境整備に取り組みます。

安全・安心の確保
市有施設の耐震化を進め、大規模災害に備えるため、観光客の利便性向上にもつながる公衆無線LANを整備します。また消防団に全国初の難燃性法被を導入するほか、浸水被害の防止を図る河川改修などを行います。

中心市街地の活性化
銀天街や花園町通り、道後地区などで、引き続きにぎわいの創出に取り組みます。

お問い合わせは、財政課
☎9486350・FAX9341803

市議会 議長に丹生谷氏、副議長に土井田氏

6月定例会最終日の7月2日に正・副議長の改選が行われ、第96代議長に丹生谷氏(公明党議員団)、第99代副議長に土井田氏(自由民主党議員団)が選任されました。

このたびは栄誉ある松山市議会議長、副議長に就任し、誠に身に余る光栄であるとともに、その重責を痛感し身の引き締まる思いです。

丹生谷 利和 第96代議長

土井田 学 第99代副議長

今日、人口減少と少子高齢化などにより、地方を取り巻く環境はますます厳しくなっています。国においては景気回復による経済の好循環を実現するために、経済再生と財政再建を実行するとともに、地方の活力を取り戻すため「地方創生」に取り組んでおり、本市もその特性を生かしながら、さらなる発展を目指した地方版総合戦略を策定する大事な年を迎えています。

市議会としても、市民の皆さんの負託に応えるよう全力を傾注するとともに、政策立案や提言を通じて、市民生活

や福祉の向上など、市政の充実、発展に取り組みますので、ご支援、ご協力をお願いします。

議長・副議長の略歴
【丹生谷利和氏】平成10年から市議会議員5期連続当選。その間、総務企画委員会委員長、第95代副議長、議会改革特別委員会委員長などを歴任。64歳。政界役員。現住所は星岡2丁目。

副市長に梅岡伸一郎氏就任
任期6月12日から4年
遠藤美武前副市長の辞任に伴い空席となっていた副市長に、梅岡伸一郎氏が就任しました。



梅岡 伸一郎 副市長

梅岡副市長の略歴

昭和51年市役所入所。産業経済部坂の上の雲まちづくりチーム推進監、産業経済部長、総合政策部長などを歴任。平成25年4月から松山市参与。62歳。

地方創生

若者女性 会議参加者募集

8/29

人口減少対策・地方創生の今後5年間の指針となる「総合戦略」の策定にあたり、若い世代および女性の皆さんの声を反映させるための会議を開催します。

【日時】8月29日(土)①女性会議 10時～②若者会議 14時～(いずれも150分程度)
【会場】ひめぎんホール(道後町二丁目)第8会議室
【内容】①結婚・出産・子育て②進学・就職に対する意識と必要な取り組みなどについてのワークショップ

【対象・定員】①市内在住または通勤・通学している18歳以上の既婚女性 30人程度②市内の大学生 10人程度、市内の専門学校生 5人程度、市内で働く30代までの人 5人程度(選考し開催前週をめぐりに通知)
【申し込み】8月12日(水)必着までに、直接または郵送、ファクス、eメールで応募用紙(企画戦略課(市役所本館5階)、市ホームページ)を〒7908571企画戦略課(jinkotaisaku@city.matsuyama.ehime.jp) ※①は託児(無料)あり。1人1会議のみ。当日は取材カメラなどが入る可能性があります。

高額介護サービス費限度額一覧

利用者負担段階区分	自己負担限度額(月額)
現役並み所得相当	44,400円(世帯) (新設)
一般	37,200円(世帯)
市民税非課税世帯等	24,600円(世帯)
年収入80万円以下等	15,000円(個人)
生活保護を受給している人等	15,000円(個人)

同じ月に利用した介護保険の利用者負担額が一定額を超えたときに支給される「高額介護サービス費」の利用者負担段階区分(所得などに応じた区分)に「現役並み所得相当」が新設され、8月サービス分から、新しい限度額が設定されます。

同一世帯内に課税所得(※)145万円以上の65歳以上の人がいる場合に、負担の上限が引き上げられます。ただし、同一世帯内の65歳以上の人の収入が、単身の場合383万円未満、2人以上の場合520万円未満である場合には、申請により一般(上限3万7200円)に戻ります(該当の可能性のある人には申請書を送付します)。

※「課税所得」とは、収入から公的年金等控除、必要経費、給与所得控除等の地方税法上の控除金額を差し引いた後の額をいいます。

お問い合わせは、介護保険課 ☎9486885・FAX9340815

地域力パワーアップ大会

地域住民や団体が連携して組織するネットワーク型の住民自治組織・まちづくり協議会。その取り組みを紹介し、地域のまちづくりについて考える地域力パワーアップ大会



意見交換の様子

が6月28日、北条市民会館で初めて開かれました。冒頭で野志市長は「住民主体のまちづくりの現状と未来について皆さんと一緒に考え、理解を深めていくことで、まちづくり協議会の輪がさらに広がっていくことを期待している」と述べました。

大会では潮見・北条・中島・桑原・正岡各地区のまちづくり協議会が、「ふるさとCMを活用した地域の魅力発信」や「福祉マップの作成による人々にやさしいまちづくり」などの活動事例を紹介。その後、市コミュニティアドバイザーとの意見交換を行いました。意見交換では、「SNS(ソ



事例発表の様子

シャル・ネットワーキング・サービス)の活用など広報活動にも工夫を「地域の物語」を創出しなければ持続的なまちづくりはできない「まちづくりの主役はあくまで住民(団体)。協議会はその橋渡し役を担っていければ」などの意見が出され、地域のさらなる魅力創出に向けた方向性を共有しました。

お問い合わせは、市民参画まちづくり課 ☎9486996・FAX9343157

高額介護サービス費の基準が変わります

8月から